

切磋琢磨

【第13号】 令和8年9月30日(水)

最高学年としての誇りと達成感!!

～「誰かのために」動けた、過去最高の1日～

3年生の作文を読み、胸が熱くなりました。そこにあったのは「自分が勝ちたい」という気持ち以上に、「同じ団の仲間のために頑張りたい」「出ている人を夢中で応援したい」という、誰かを思いやる温かい心でした。

直接目に見える活躍だけでなく、長い時間をかけた団旗制作や、裏での声掛けがすべて繋がって、あの「言葉に表せないほどの一体感」が生まれたのだと思います。

結果が嬉しかった人も、悔しかった人も、全員が「過去最高に頑張れた」と胸を張れる、まさに最高学年にふさわしい、最高の運動会でした。この素晴らしい絆と経験を、これからの学校生活にも繋げていきましょう。





生徒の感想を紹介します。

1組 太田 恵生 さん

私は団旗制作を通して、同じ団の人たちのために頑張ることができたと思います。団旗制作メンバー全員で最優秀賞をとることを目標にして長い時間を費やしたおかげで、本当に最優秀賞をとれたときはうれしかったです。また、それによって緑団に少しでも貢献できたと思うと頑張ったと感じました。直接皆に何かできたわけではないけれど、これからは誰かのために努力することを忘れずに学校生活を送ろうと思いました。運動会では応援リーダーを中心に全員で息を合わせて応援したのが一番心に残っています。今までしてきた練習よりもまとまりがあり、過去一の応援を披露できたと思うので良かったです。中学校最後の運動会を楽しく終われて最高でした。

2組 中本 桃叶 さん

私は、この運動会で競技中の応援が一番記憶に残っています。競技中、赤団全員が競技をしている人を応援することに集中し、夢中になって応援しました。いつもはあまり関わることのない他学年と協力し、一生懸命応援したあの一体感、応援中のみんなの表情、すごく青春っぽくて言葉に表せないような気持ちになりました。私が競技に出ているとき、みんなが一生懸命応援してくれて、すごくうれしかったし、「応援」にはすごい力があるなと改めて感じました。誰かのために応援し、応援された人はまた誰かのために応援する。その応援のサイクルが、赤団を優勝に導いたと思います。これからも、「誰かのために」を心がけ、いろんなことに全力で取り組みたいです。

3組 飯田 つむぎ さん

私は、一番、応援で最優秀賞をとることを目標にして、たくさん練習してきました。放課後練習ではうまくいかないことが何回もあったけど、その度に「もっと頑張らなきゃ」って思えました。応援練習を通して私は、周りをしっかりと見られるようになったと思います。2年女子を中心に振りを教えました。難しく、困っていた子がいたら、みんなにその部分を丁寧に教えることができました。運動会本番、競技ではいい結果を残せず悔しかったけど、それ以上に応援で最優秀賞をとって本当にうれしかったです。みんな大きな声で、全力で練習も本番も取り組んでくれて、青団のみんなのおかげでこの賞を取ることができました。「本当にみんなありがとう。」最後に1年生の女の子が私達応援リーダーに感謝を伝えに来てくれました。本当にうれしくて、改めて応援リーダー頑張ってた良かったって思えた瞬間でした。この運動会、一生の思い出です。

4組 廣瀬 綾大 さん

最高学年として自覚を持って今まで以上に頑張れたと私は思います。今回の運動会、声を一番出せていたし、選択種目の障害物も1位で、二人三脚も息を合わせることができていました。なにより、3年生にしかできない団旗制作が担当できてうれしかったです。それでも、惜しくも準優勝という結果になってしまいましたが、間違いなく過去最高に頑張れたと胸を張っていえます。そんな運動会だったからこそ、とても楽しかったし思い出に残るものとなりました。